

第 55 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2025 年 2 月調査)

～ 景況感は 3 期ぶりに改善。先行きは悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.9（前回調査比 6.5 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、卸・小売業が大きく改善したほか、建設業、製造業、サービス業でも改善するなど全業種で改善となっている。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲8.9（前回調査比 7.1 ポイント上昇）、中央が 2.3（同 12.8 ポイント上昇）とともに改善した一方、県南では▲15.5（同 4.8 ポイント下落）と悪化となっている。
- **先行き**見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲25.1（今回調査比 20.2 ポイント下落）と悪化の見通しとなっている。

【 特別調査 】

- **雇用調整**についてうかがったところ、令和 6 年度に実施した（あるいは実施している）企業の割合は、「残業規制」が 41.8%（前年調査比 1.7 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 4.6%（同 1.9 ポイント上昇）と前年に比べて上昇した一方、「ワークシェアリング」は 14.2%（同 1.0 ポイント低下）、「従業員の中途採用」は 49.8%（同 4.3 ポイント低下）と割合は低下した。
- **新卒者の採用状況**について、来年度（令和 7 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 43.0%（前年調査比 3.8 ポイント上昇）と上昇した。

2025 年 3 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別 D I 値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 雇用調整について	12
2. 新卒者の採用状況について	13
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	14
<参考資料 II : 調査の概要>	14

I. 県内企業の業況

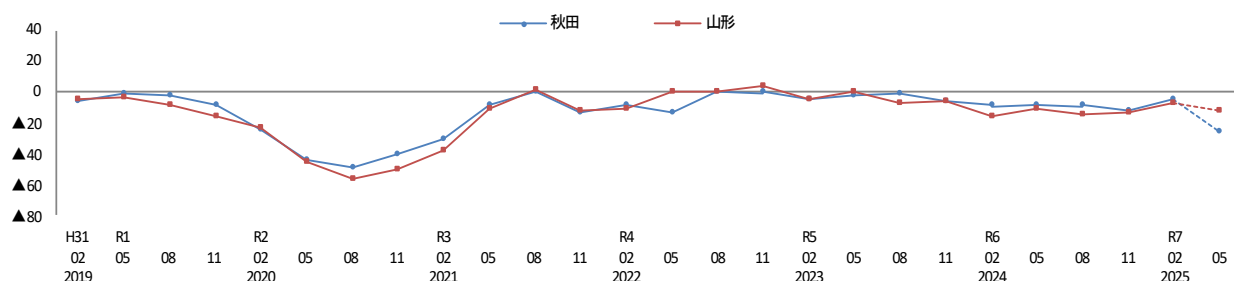
1. 概況

～ 景況感は 3 期ぶりに改善。先行きは悪化の見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲4.9（前回調査比 6.5 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。

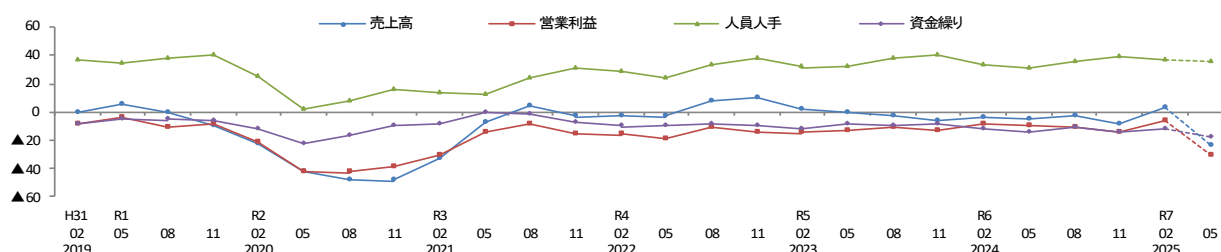
先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲25.1（今回調査比 20.2 ポイント下落）と悪化の見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 2.1	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 8.2	32.8	▲ 11.6
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	0.2	▲ 19.2	▲ 4.7	▲ 9.2	31.5	▲ 14.1
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	▲ 0.7	▲ 14.7	▲ 2.2	▲ 10.3	36.0	▲ 10.6
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 2.7	▲ 12.1	▲ 8.9	▲ 13.7	39.2	▲ 14.0
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	(6.5)	▲ 13.4	3.4	▲ 6.5	36.9	▲ 12.0
前回調査比	-	-	-	(12.3)	(7.2)	(▲ 2.3)	(2.0)
先行き見通し	▲ 25.1	-	-	▲ 24.1	▲ 30.0	35.3	▲ 18.0
今回調査比	(▲ 20.2)	-	-	(▲ 27.5)	(▲ 23.5)	(▲ 1.6)	(▲ 6.0)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

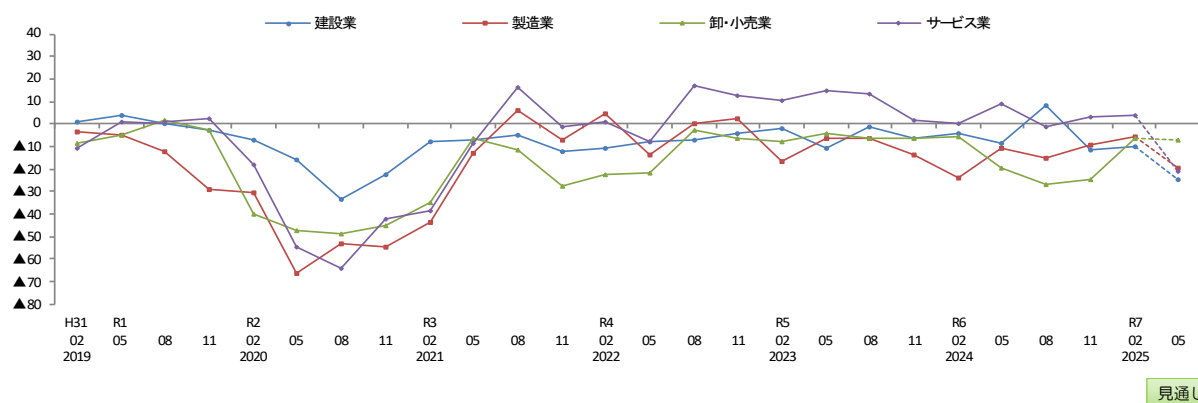
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、卸・小売業が大きく改善したほか、建設業、製造業、サービス業でも改善するなど全業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、サービス業では大幅な悪化が見込まれるほか、その他の 3 業種でも悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 4.3	▲ 24.3	▲ 5.9	0.0
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 19.8	8.6
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	8.1	▲ 15.1	▲ 26.7	▲ 1.3
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 9.4	▲ 25.0	2.8
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	▲ 10.4	▲ 5.6	▲ 6.2	3.9
前回調査比	(6.5)	(1.2)	(3.8)	(18.8)	(1.1)
先行き見通し	▲ 25.1	▲ 24.5	▲ 19.7	▲ 7.5	▲ 20.8
今回調査比	(▲ 20.2)	(▲ 14.1)	(▲ 14.1)	(▲ 1.3)	(▲ 24.7)

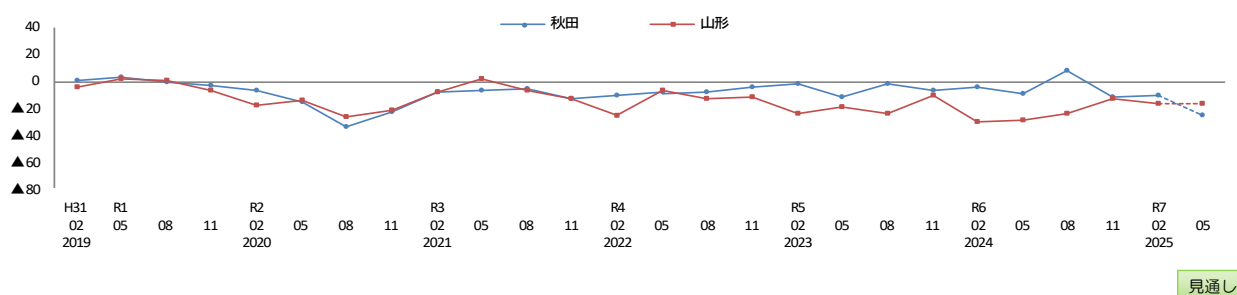
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

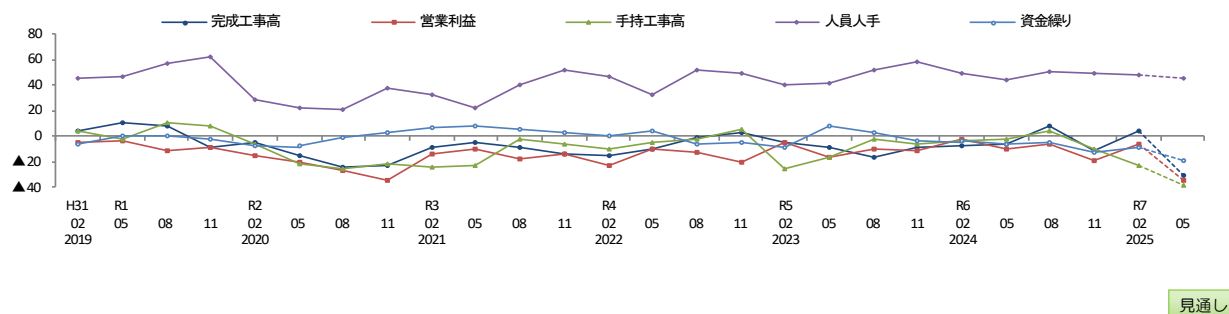
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.4（前回調査比 1.2 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「手持工事高」が悪化となった一方、「完成工事高」「営業利益」「資金繰り」ではそれぞれ改善となった。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、人手不足による受注機会の損失や、人件費が上昇している状況が色濃くうかがえる。また、首長選挙等による来年度の公共工事発注の遅れを挙げるコメントなども見られた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲24.5（今回調査比 14.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

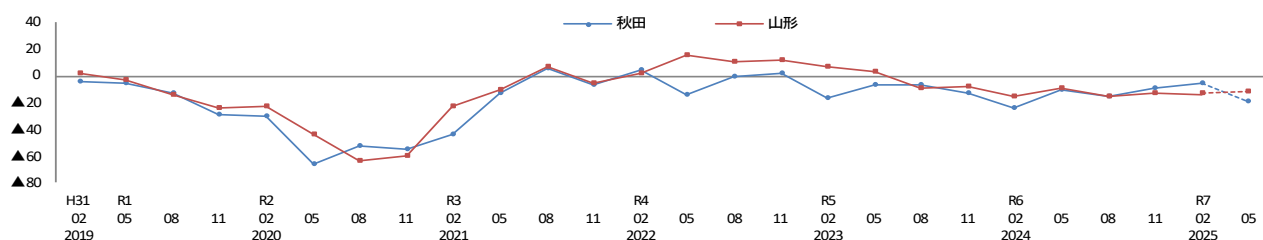
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2024.02 (n=94)	▲ 4.3	2.1	▲ 5.2	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 3.2	50.0	▲ 4.3
2024.05 (n=92)	▲ 8.7	▲ 4.4	▲ 14.9	▲ 6.6	▲ 9.8	▲ 2.2	44.6	▲ 6.5
2024.08 (n=87)	8.1	16.8	▲ 19.6	8.1	▲ 6.9	3.4	50.6	▲ 4.6
2024.11 (n=86)	▲ 11.6	▲ 19.7	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 19.8	▲ 10.5	48.8	▲ 12.8
2025.02 (n=86)	▲ 10.4	(1.2)	▲ 16.3	4.6	▲ 7.0	▲ 23.2	47.7	▲ 9.3
前回調査比	-	-	-	(16.3)	(12.8)	(▲ 12.7)	(▲ 1.1)	(3.5)
先行き見通し	▲ 24.5	-	-	▲ 31.4	▲ 34.9	▲ 38.4	45.3	▲ 19.8
今回調査比	(▲ 14.1)	-	-	(▲ 36.0)	(▲ 27.9)	(▲ 15.2)	(▲ 2.4)	(▲ 10.5)

② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.6（前回調査比 3.8 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が悪化となった一方、「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」ではそれぞれ改善となった。また、「人員人手」は 4 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、原材料費や燃料価格等の上昇に伴うコスト増を挙げるコメントが引き続き多く寄せられたほか、価格転嫁や賃上げに苦慮するコメントなども見られた。

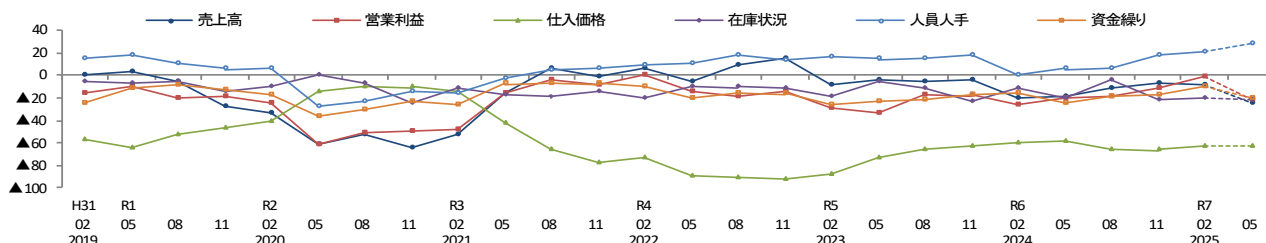
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲19.7（今回調査比 14.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

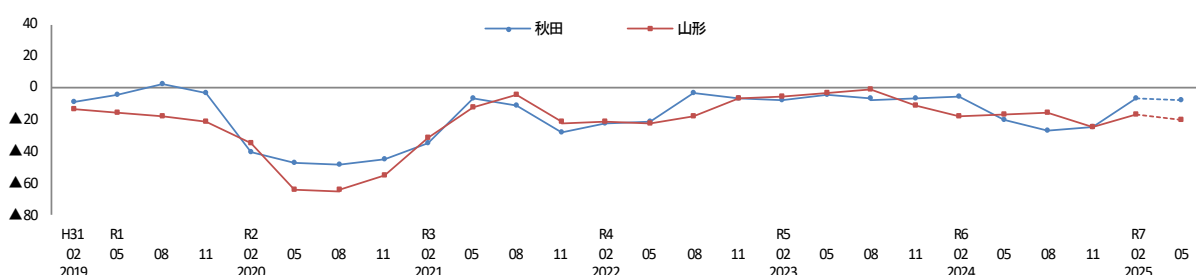
前年同期比の自社業況 D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2024.02 (n=74)	▲ 24.3	▲ 10.8	▲ 8.1	▲ 20.2	▲ 25.7	▲ 59.4	▲ 10.8	1.3	▲ 14.9
2024.05 (n=75)	▲ 10.6	13.7	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 58.7	▲ 20.0	6.7	▲ 24.0
2024.08 (n=73)	▲ 15.1	▲ 4.5	▲ 1.3	▲ 11.0	▲ 19.2	▲ 65.8	▲ 4.1	6.9	▲ 17.8
2024.11 (n=74)	▲ 9.4	5.7	▲ 13.7	▲ 6.8	▲ 10.8	▲ 66.2	▲ 21.6	18.9	▲ 17.6
2025.02 (n=71)	▲ 5.6	(3.8)	▲ 8.1	▲ 8.4	▲ 1.4	▲ 63.4	▲ 19.7	21.1	▲ 9.8
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.6)	(9.4)	(2.8)	(1.9)	(2.2)	(7.8)
先行き見通し	▲ 19.7	-	-	▲ 24.0	▲ 21.1	▲ 63.4	▲ 21.1	28.2	▲ 19.7
今回調査比	(▲ 14.1)	-	-	(▲ 15.6)	(▲ 19.7)	(0.0)	(▲ 1.4)	(7.1)	(▲ 9.9)

③ 卸・小売業

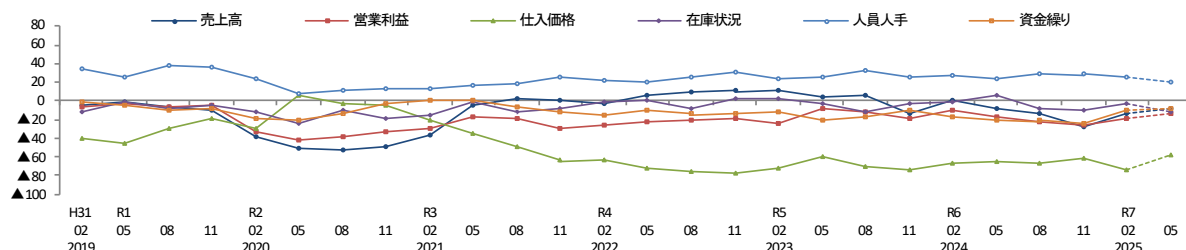
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.2（前回調査比 18.8 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」が悪化となった一方、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」ではそれぞれ改善となった。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、仕入れ価格の上昇や燃料費の高止まりによる業績への影響が依然として色濃くうかがえた。業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.5（今回調査比 1.3 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

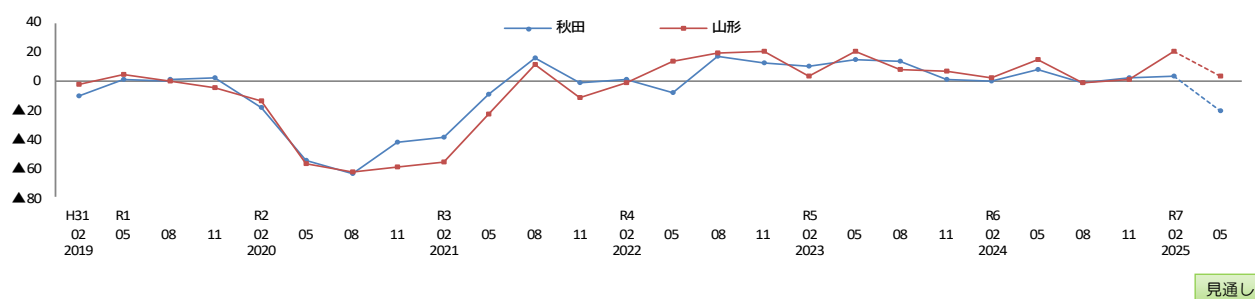
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2024.02 (n= 85)	▲ 5.9	0.3	▲ 7.5	1.2	▲ 9.4	▲ 67.0	▲ 1.2	28.2	▲ 17.7
2024.05 (n= 91)	▲ 19.8	▲ 13.9	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 16.5	▲ 64.8	5.5	24.2	▲ 19.8
2024.08 (n= 86)	▲ 26.7	▲ 6.9	▲ 24.2	▲ 14.0	▲ 22.1	▲ 66.3	▲ 8.1	29.1	▲ 20.9
2024.11 (n= 84)	▲ 25.0	1.7	▲ 29.1	▲ 28.5	▲ 26.2	▲ 60.7	▲ 10.7	28.6	▲ 25.0
2025.02 (n= 89)	▲ 6.2	(18.8)	▲ 19.0	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 74.0	▲ 3.7	25.9	▲ 9.9
前回調査比	-	-	-	(15.0)	(6.5)	(▲ 13.3)	(7.0)	(▲ 2.7)	(15.1)
先行き見通し	▲ 7.5	-	-	▲ 8.6	▲ 13.6	▲ 58.0	▲ 12.4	21.0	▲ 7.4
今回調査比	(▲ 1.3)	-	-	(4.9)	(6.1)	(16.0)	(▲ 8.7)	(▲ 4.9)	(2.5)

④ サービス業

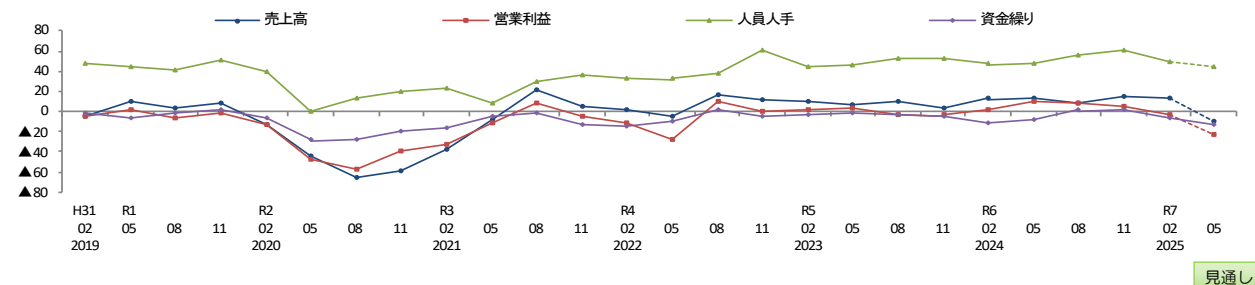
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 3.9（前回調査比 1.1 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、光熱費や人件費等のコスト上昇による業績への影響が引き続きうかがえたほか、運輸業では 2024 年問題の影響から人手不足が続いている状況もうかがえた。また、インバウンド需要の増加を期待するコメントなども寄せられている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.8（今回調査比 24.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2024.02 (n=76)	0.0	▲ 1.3	▲ 3.9	13.1	2.6	47.4	▲ 10.5
2024.05 (n=81)	8.6	8.6	▲ 23.7	13.6	9.9	48.1	▲ 7.4
2024.08 (n=76)	▲ 1.3	▲ 9.9	▲ 11.1	7.9	7.9	55.3	1.3
2024.11 (n=70)	2.8	4.1	▲ 2.7	15.7	5.7	61.4	1.5
2025.02 (n=77)	3.9	(1.1)	▲ 8.6	13.0	▲ 2.6	49.3	▲ 6.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.7)	(▲ 8.3)	(▲ 12.1)	(▲ 8.0)
先行き見通し	▲ 20.8	-	-	▲ 10.4	▲ 23.4	44.2	▲ 13.0
今回調査比	(▲ 24.7)	-	-	(▲ 23.4)	(▲ 20.8)	(▲ 5.1)	(▲ 6.5)

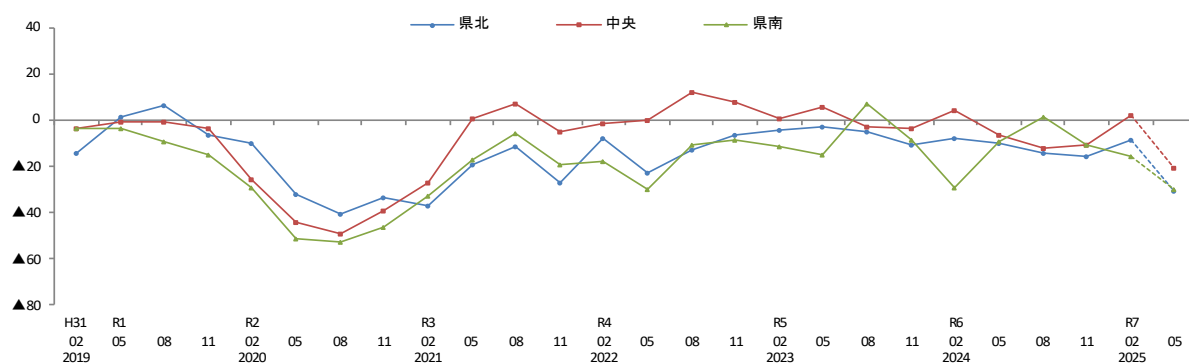
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲8.9（前回調査比 7.1 ポイント上昇）、中央が 2.3（同 12.8 ポイント上昇）とともに改善した一方、県南では▲15.5（同 4.8 ポイント下落）と悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北と中央では大幅な悪化が見込まれているほか、県南でも悪化の見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

見通し

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 8.1	4.2	▲ 29.3
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 6.6	▲ 9.3
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 12.0	1.1
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 16.0	▲ 10.5	▲ 10.7
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	▲ 8.9	2.3	▲ 15.5
前回調査比	(6.5)	(7.1)	(12.8)	(▲ 4.8)
先行き見通し	▲ 25.1	▲ 30.4	▲ 20.6	▲ 29.9
今回調査比	(▲ 20.2)	(▲ 21.5)	(▲ 22.9)	(▲ 14.4)

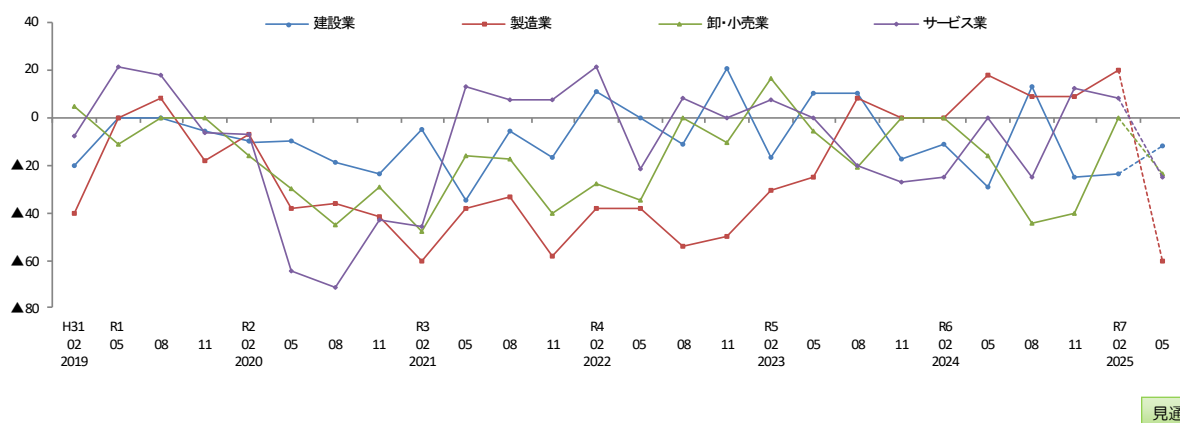
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲8.9（前回調査比 7.1 ポイント上昇）と 4 期ぶりに改善となった。業種別では、サービス業が悪化となった一方、建設業、製造業、卸・小売業では改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲30.4（今回調査比 21.5 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、建設業が改善の見通しとなっている一方、製造業、卸・小売業、サービス業ではいずれも悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

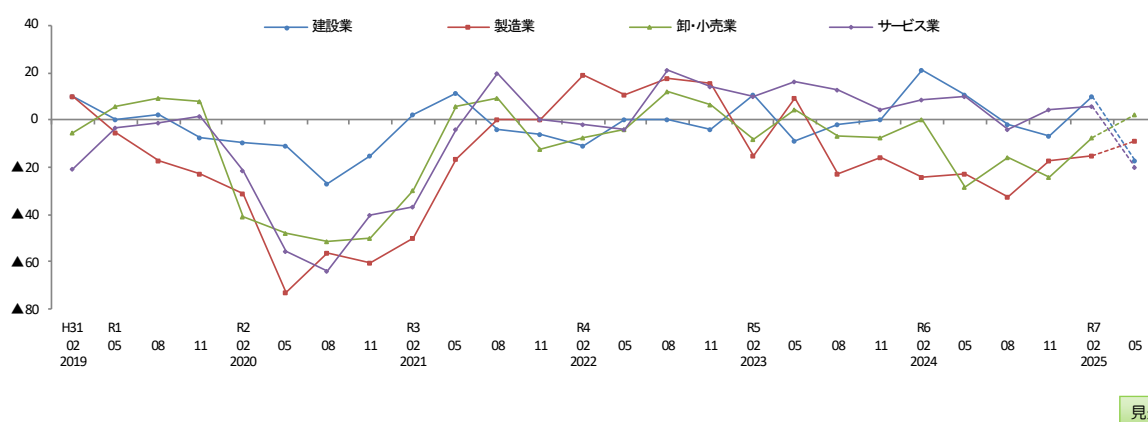
県 北 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建 設	製 造	卸・小売	サービ	ス
2024.02 (n=61)	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 25.0
2024.05 (n=60)	▲ 10.0	▲ 29.4	18.2	▲ 15.7	0.0
2024.08 (n=56)	▲ 14.3	13.3	9.1	▲ 44.4	▲ 25.0
2024.11 (n=50)	▲ 16.0	▲ 25.0	9.1	▲ 40.0	12.5
2025.02 (n=56)	▲ 8.9	▲ 23.5	20.0	0.0	8.3
前回調査比	(7.1)	(1.5)	(10.9)	(40.0)	(▲ 4.2)
先行き見通し	▲ 30.4	▲ 11.8	▲ 60.0	▲ 23.5	▲ 25.0
今回調査比	(▲ 21.5)	(11.7)	(▲ 80.0)	(▲ 23.5)	(▲ 33.3)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 2.3（前回調査比 12.8 ポイント上昇）と 2 期連続で改善し、再びプラスへと転じた。業種別では、建設業が改善しプラスに転じたほか、製造業、卸・小売業、サービス業でもそれぞれ改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.6（今回調査比 22.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業と卸・小売業が改善の見通しとなっている一方、建設業とサービス業ではいずれも悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

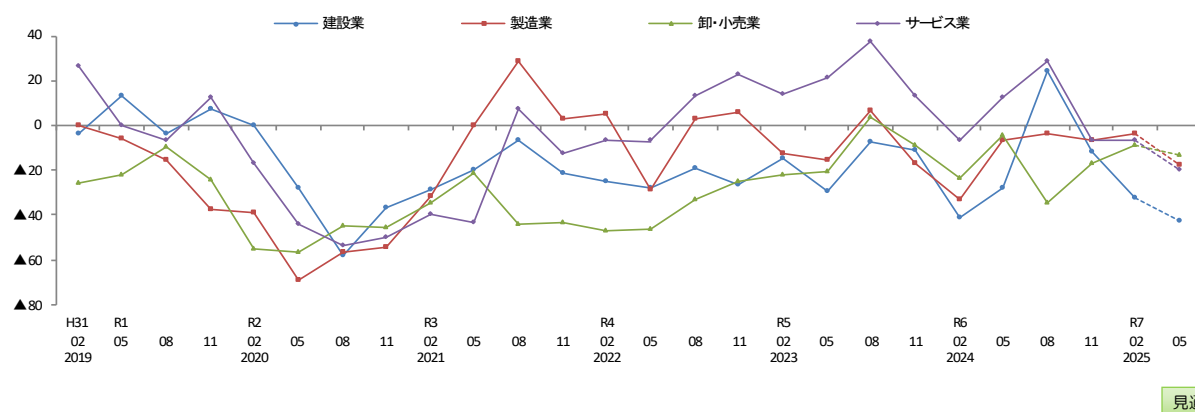
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービ
2024.02 (n=169)	4.2	21.3	▲ 24.1	0.0	8.4
2024.05 (n=182)	▲ 6.6	10.9	▲ 22.9	▲ 28.6	9.6
2024.08 (n=176)	▲ 12.0	▲ 2.1	▲ 32.4	▲ 15.6	▲ 4.0
2024.11 (n=171)	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 17.6	▲ 24.5	4.3
2025.02 (n=170)	2.3	9.8	▲ 15.2	▲ 7.3	6.0
前回調査比	(12.8)	(16.5)	(2.4)	(17.2)	(1.7)
先行き見通し	▲ 20.6	▲ 17.1	▲ 9.1	2.4	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 22.9)	(▲ 26.9)	(6.1)	(9.7)	(▲ 26.0)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲15.5（前回調査比 4.8 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別では、建設業が悪化となった一方、製造業と卸・小売業では改善したほか、サービス業は横這いとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲29.9（今回調査比 14.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、4 業種すべてで悪化の見通しとなっている。

図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



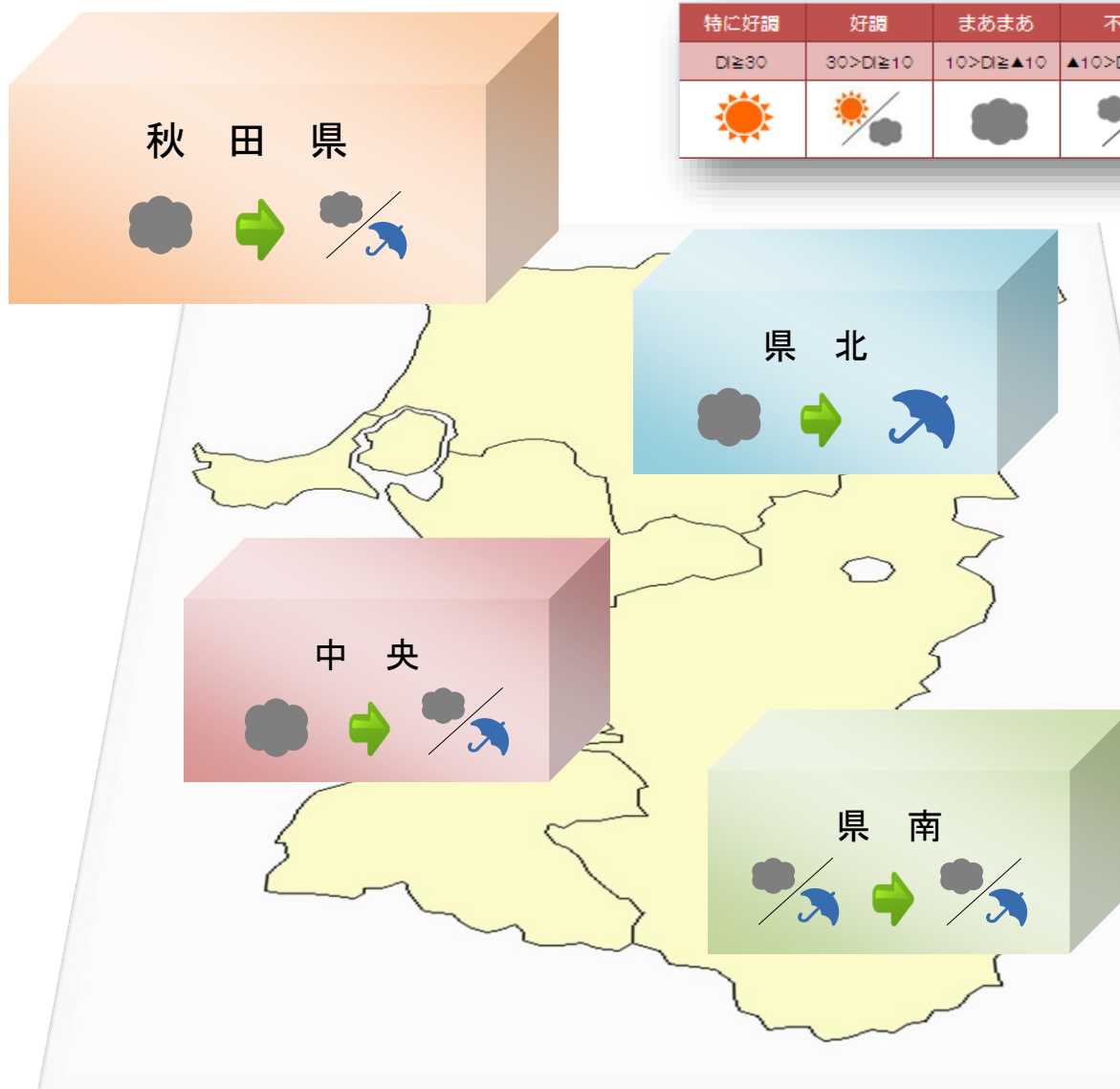
前年同期比の自社業況 D I 値

県 南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建 設	製 造	卸・小売	サービ	ス
2024.02 (n=99)	▲ 29.3	▲ 41.4	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 6.2
2024.05 (n=97)	▲ 9.3	▲ 27.6	▲ 6.9	▲ 4.4	12.5
2024.08 (n=90)	1.1	24.0	▲ 3.6	▲ 34.8	28.6
2024.11 (n=93)	▲ 10.7	▲ 12.0	▲ 6.9	▲ 16.7	▲ 6.7
2025.02 (n=97)	▲ 15.5	▲ 32.1	▲ 3.5	▲ 8.7	▲ 6.7
前回調査比	(▲ 4.8)	(▲ 20.1)	(3.4)	(8.0)	(0.0)
先行き見通し	▲ 29.9	▲ 42.9	▲ 17.9	▲ 13.1	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 14.4)	(▲ 10.8)	(▲ 14.4)	(▲ 4.4)	(▲ 13.3)

Ⅱ. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

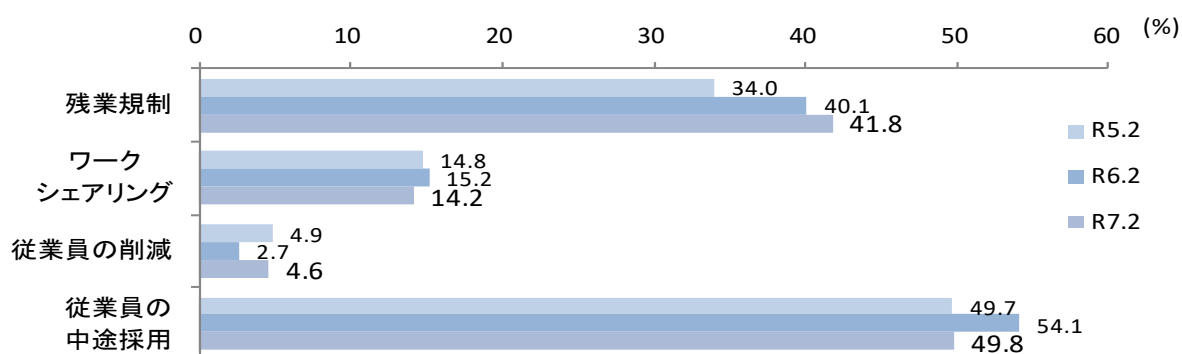
Ⅲ. 特別調査

1. 雇用調整について

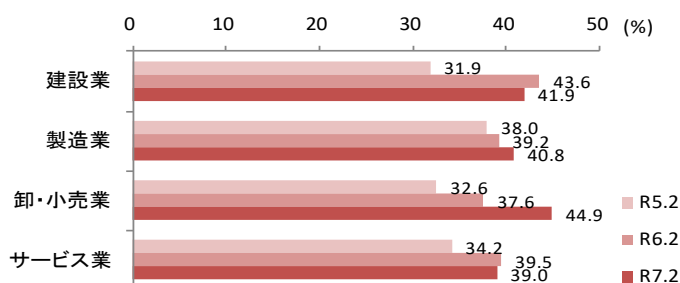
令和 6 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 41.8%（前年調査比 1.7 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 4.6%（同 1.9 ポイント上昇）と前年に比べて上昇した一方、「ワークシェアリング」は 14.2%（同 1.0 ポイント低下）、「従業員の中途採用」は 49.8%（同 4.3 ポイント低下）と割合は低下した。

実施している企業の割合が最も高いのは引き続き「従業員の中途採用」となっている。

図表 16 雇用調整の実施状況

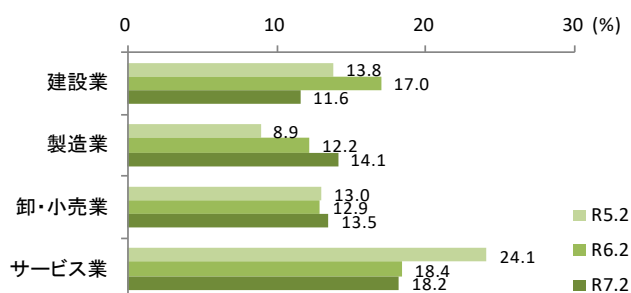


図表 17 業種別「残業規制」の実施状況



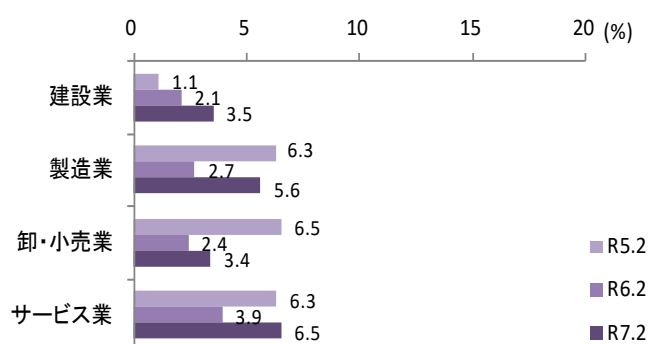
「残業規制」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、製造業と卸・小売業で上昇となった一方、建設業とサービス業では低下した。最も割合が高いのは卸・小売業で 44.9% となっている。

図表 18 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



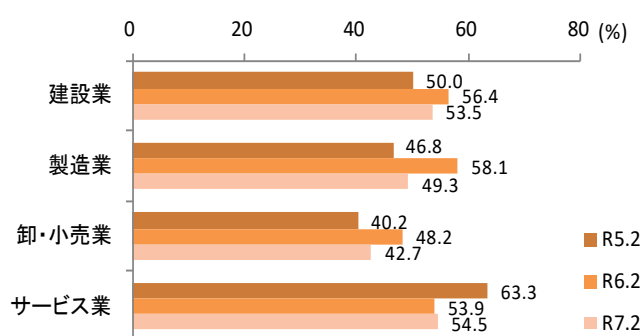
「ワークシェアリング」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、製造業と卸・小売業で上昇となった一方、建設業とサービス業では低下した。実施した企業の割合は、いずれも 1 割台となっている。

図表 19 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、全ての業種で増加となっているが、実施した企業の割合は、いずれの業種でも 1 割未満と低い割合となっている。

図表 20 業種別「従業員の中途採用」の実施状況



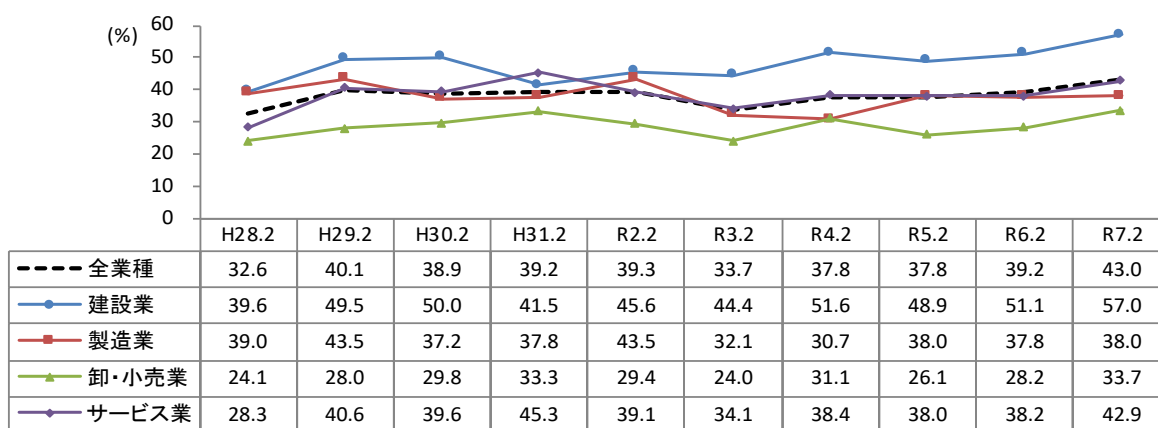
「従業員の中途採用」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、サービス業でやや増加となった一方、その他の 3 業種ではいずれも低下となった。実施した企業の割合は、建設業やサービス業では 5 割台となっている。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和 7 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 43.0%（前年調査比 3.8 ポイント上昇）と上昇した。

業種別にみると、全ての業種でいずれも上昇している。

図表 20 業種別「新卒者の採用状況」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	17	24	18	80
中央	64	47	66	76	253
県南	36	47	37	20	140
合計	121	111	127	114	473

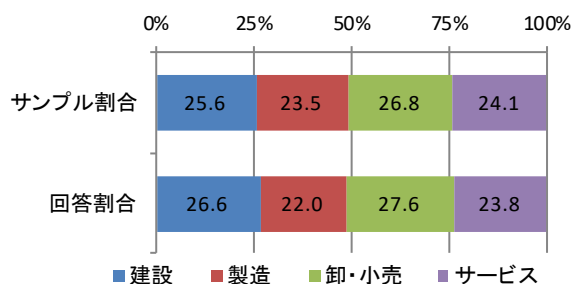
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	17	10	17	12	56
中央	41	33	46	50	170
県南	28	28	26	15	97
合計	86	71	89	77	323

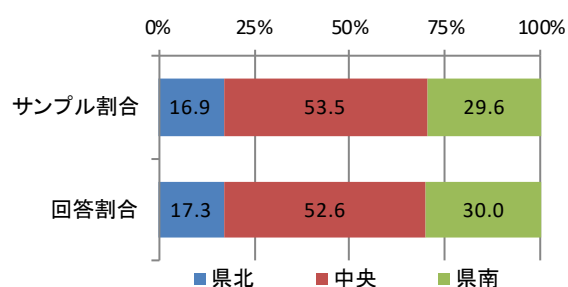
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.0	58.8	70.8	66.7	70.0
中央	64.1	70.2	69.7	65.8	67.2
県南	77.8	59.6	70.3	75.0	69.3
合計	71.1	64.0	70.1	67.5	68.3

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2025年2月3日（月）～17日（月）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」 (「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 小玉／小林

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店内

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>